

石井商事 八潮第一工場をリニューアル

～ 石井商事 沿革 ～

- 昭和18年 4 月 東京都葛飾区堀切7丁目25番13号にて石井商店として製鋼原料の仕入れ・販売を創業開始する。
- 昭和43年 8 月 鋼材部門新設・事務所合理化のため、葛飾区東堀切3丁目6番3号に本社・鋼材ヤードを移転する。資本金800万円に増資する。
- 昭和45年 9 月 群馬県高崎市倉賀野3018番地（高崎金属工業団地内）に、工業用地6,765平方メートルを取得する。
- 昭和50年11月 創業社長である石井直吉氏の死去にともない、石井偉永氏が社長に就任する。
- 昭和52年 5 月 資本金を9600万円に増資する。
- 昭和54年 3 月 八潮工場第一期工事完了。粗製鋼精製処理プラントの移動により、高品位粒テツ・粒銑の販売を開始する。八潮工場建設にともない、本社を葛飾区堀切7丁目25番13号に移転登記する。
- 昭和57年 9 月 川崎重工株式会社と大塊地金の粉碎・精製機械“SPLITTER”、高品位粒テツ・粒銑の大量生産機“REVIVER”の共同開発に成功する。日本・海外（アメリカ・カナダ・メキシコ・西欧諸国等）に特許を申請する。
- 昭和62年 6 月 足立区北加平町8番30号の社宅用地に、賃貸マンション建設完了する。
- 平成 7 年 8 月 住宅用高性能制振遮音材と軟質遮音シートを開発する。商品名「すーぱー静香」で販売開始する。
- 平成13年11月 「すーぱー静香」の一貫製造ライン及び自動ラック倉庫完了する。八潮工場にて生産及び販売を開始する。
- 平成14年12月 役員改選で代表取締役会長に石井偉永氏、代表取締役社長に石井正明氏が選任され就任する。
- 平成14年12月 産業廃棄物処理業許可を取得する。（許可番号1120020703）
- 平成16年12月 ISO14001認証取得
- 平成23年 4 月 八潮工場第一スクラップヤード改修工事が完了する。（総工費10億円）



▲全長200mの第一工場屋根と壁面に設置された太陽光発電システム・ソーラーパネル



▲第一工場と1万坪の敷地内で稼働する20台の重機類

900平方メートルと従来の約2倍、鉄・非鉄スクラップをはじめ、製鋼メーカーから発生する粗製鋼の精錬処理や酸化鉄粉の製造販売を行うなど、鉄鋼事業で取扱う品目は様々だ。

また、平成7年8月からは住宅用高性能制振遮音材と軟質遮音材（商品名「すーぱー静香」）の販売を開始。その5年後には八潮工場内に一貫製造ラインおよび自動ラック倉庫が完成し、事業を展開してきた。その他にも、太陽光発電システムの販売を手掛けるなど、現在、建材事業における売上は全体の44%を占めるまでに成長している。

今後について石井社長は「弊社の主軸はあくまでも鉄鋼事業だ。しかし、これからは太陽光発電システムの需要の伸びも予想される。鉄鋼事業と建材事業の両輪で事業を充実させていく」としている。

埼玉県東部のスクラップブリーダー、石井商事（埼玉県八潮市鶴ヶ曽根、石井正明社長）が進めていた八潮工場第一工場棟のリニューアルがこのほど完了した。

今回の工事では、およそ200坪の第一工場棟

の屋根と壁面に同社が販売する太陽光発電システムのソーラーパネルを設置。年間15万7000キロワットの発電を可能とし、工場使用電力の一部をまかなえる環境負荷の低減を考えた作りとした。

また、建屋面積を約7

ソーラーパネル設置で
環境負荷を低減

ら今年4月までの1年間、総工費約10億円をかけて行った。



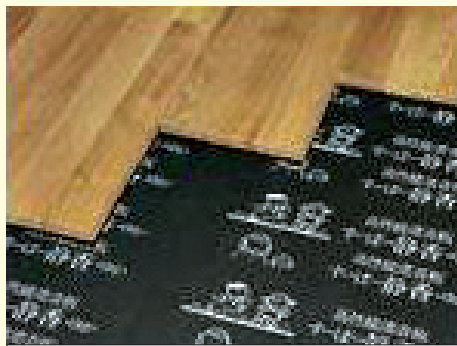
▲石井商事・八潮本社工場（放射能探知ゲート付き）



▲「すーぱー静香」製造ライン（左）と自動ラック倉庫（右）

石井商事の事業内容

鉄を中心とした金属の再資源化を通じ
限りある資源の有効活用と、地球環境の保全を目指し
豊かな社会生活の向上発展に貢献しています。



高性能制振遮音材の生産 販売
商品名《すーぱー静香》



製鋼原料・ casting原料・非鉄金属の
加工及び販売



高炉・転炉・電気炉・粗製鋼
の精製処理



太陽光発電システムの販売
太陽光発電・エコキュート・IHクッキングヒーター



酸化鉄粉の製造販売